

今後の検討事項について

令和6年12月
政策統括官付

〈研究会とワーキンググループによる検討体制〉

歩行空間DX研究会

- ・年1回のシンポジウムの開催
- ・年間を通じた情報提供や意見交換の場の提供



人・ロボットの移動円滑化のための歩行空間DX研究会

移動円滑化データWG

〈検討テーマ〉

- (1)データ整備・更新の効率化
- (2)オープンデータ化のさらなる促進
- (3)多様なニーズに対応したデータのあり方
- (4)その他

3次元地図WG

〈検討テーマ〉

- (1)データ整備・更新の効率化
- (2)オープンデータ化を見据えたデジタル基盤のあり方
- (3)多様なニーズに対応したデータのあり方

有識者、自治体、民間事業者等の意見や実証実験の結果をほこナビDPの拡充機能や整備仕様等へ反映。

実証実験



歩行空間NWデータ整備システムを活用した整備・更新実証(R5.12)



歩行空間NWデータによる経路検索を活用したロボット走行実証(R4.11)

WGで検討

結果共有

〈ワーキンググループにおける検討や実証を踏まえ「歩行空間ナビゲーション データプラットフォーム(ほこナビDP)」の拡充を図る〉

官民で構成されるWGで以下項目を検討



歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ

- ・3次元点群データや既存の地図情報等から歩行空間ネットワークデータやバリア情報の自動生成等の効率的なデータ整備・更新の手法
- ・市民通報等によるデータ更新の仕組みと運用
- ・自治体等が活用しやすいバリアフリー施設のデータフォーマット



歩行空間の3次元地図ワーキンググループ

- ・新技術等を活用した新たなデータ整備手法(MMS(車両、バックパック等)、スマホLidar等)
- ・バリア抽出や自動配送ロボット等の走行に必要な点群データの整備・更新手法(精度、等級基準等)
- ・取得した点群データの統合手法

有識者、自治体、民間事業者等の意見や実証実験の結果をほこナビDPの拡充機能や整備仕様等へ反映。

共有・展開

研究会によるNW拡大・講習会開催

改訂

整備仕様・マニュアル作成

機能拡充



オープンデータ化

ほこナビDP

オープンデータサイト

- 歩行空間NWデータ
- 施設データ
- 3次元地図データ

現状の機能

- ・データ閲覧機能
- ・データ検索機能
- ・経路検索機能

〈目指す拡充機能〉

3次元地図対応NWデータ自動整備システム

3次元地図や画像データ、軌跡データの活用により、NWデータが自動的に整備可能。既存のNWデータ整備ツール(2次元地図)が3次元地図へ対応可能。

3次元地図統合機能

精度の高い車道のデータと簡易に取得した歩行空間のデータを統合する等、複数の3次元地図データの統合・管理が可能。

NWデータ更新システム

市民からの投稿(NWデータの更新候補箇所の通報)を踏まえたNWデータの更新が可能。

施設データ管理機能

バリアフリー施設等データの整備・管理・オープンデータ化が効率的に実施可能(データフォーマットの統一も実施)。

各データの課題への対応状況



歩行空間ネットワークデータ		課題	仕様・手順書等	ほこナビDP機能	
新たなニーズへの対応が必要	→	「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様」の改訂		データWG	
データの効率的な更新手法が必要	→	市民等からのデータ提供による更新機能の構築		データWG	未対応箇所
新技術等を活用した新たなデータ整備手法が必要	→	歩行空間ネットワークデータ自動生成機能の構築	①針金データ自動生成機能 ②バリア情報自動生成機能 ③①②の統合機能	データWG	
				地図WG	
		①及び②に関するデータ整備手順書作成	データWG		
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	→	ほこナビDP運用手順書の作成		データWG	
3次元地図データ					
自動配送ロボット等の走行に必要なデータの整備・更新手法を検討 ＋ バリア情報の自動生成等に活用可能なデータの整備・更新手法を検討※	→	3次元点群データの要件整理	・データの精度 ・データの密度 ・位置基準 等	データWG※	
				地図WG	
				3次元点群データの取得・統合手順書の作成	地図WG
				3次元点群データ管理・登録/フィルタリング機能の構築	地図WG
		複数3次元点群データの統合機能の構築	地図WG		
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	→	ほこナビDP運用手順書の作成		地図WG	
バリアフリー施設データ					
バリアフリー施設データ形式等の共通化、及び整備・管理・オープンデータ化作業の効率化が必要	→	施設管理者が所管するバリアフリー施設情報が整備・管理しやすいデータ形式等の作成		データWG	
		施設データの整備・管理・オープンデータ化機能の構築		データWG	未対応箇所
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	→	ほこナビDP運用手順書の作成		データWG	



- 令和5年6月に設置した「歩行空間の移動円滑化データWG」と「歩行空間の3次元地図WG」で議論してきた技術検討の内容については、概ね方向性が見えてきている。
- 次年度以降からは、これまでに検討してきた内容を踏まえ、全国展開を見据え普及促進に力を入れるとともに、オープンデータの推進のための運用にかかる検討やデータ活用を主軸に検討を行う。

(令和5年度～令和6年度)

(令和7年度～)

